

介護職員等処遇改善加算に係る職場環境等要件の取組みについて

医療法人羊蹄会では、介護職員等処遇改善加算の趣旨を踏まえ、介護職員をはじめとする職員が安心して働き続けることができる職場環境の整備と、職員の資質・専門性の向上に取り組んでいます。

当法人の主な取組は、以下のとおりです。

1. 入職促進に向けた取組み

幅広い人材の採用

年齢やこれまでの職歴、経験等にかかわらず、介護の仕事に意欲を持つ方を幅広く受け入れています。

経験者や有資格者だけでなく、他の業種からの転職者や子育て世代、中高年齢者など、それぞれの経験や能力を活かして働くことができる人材の採用に取り組んでいます。

2. 資質の向上やキャリアアップに向けた支援

資格取得・研修受講の支援

職員が働きながら専門的な知識や技術を身につけ、キャリアアップできるよう、介護福祉士をはじめとする資格取得や、業務に必要な各種研修の受講を支援しています。

研修と人事評価の連動

職員が身につけた知識・技術や日々の業務への取組を適切に評価できるよう、研修・能力向上と人事考課との連動を図っています。

職員一人ひとりの成長を支援し、キャリアアップにつながる仕組みづくりを進めています。

3. 両立支援・多様な働き方の推進

仕事と家庭を両立できる職場づくり

子育てや家族の介護など、職員それぞれの事情に配慮し、仕事と生活を両立しながら働き続けることができるよう、休業制度や事業所内託児施設等の環境を整えています。

職員の事情に応じた柔軟な勤務

職員の生活環境や家庭事情等に応じ、勤務シフトや勤務時間について可能な範囲で柔軟に対応しています。

職員が無理なく働き続けられるよう、多様な働き方を支援しています。

有給休暇を取得しやすい職場づくり

業務を複数の職員で共有するなど、特定の職員に業務が集中しない体制づくりを進めています。

業務の属人化や担当者への負担の偏りを減らすことで、職員が安心して有給休暇を取得できる環境の整備に取り組んでいます。

4. 腰痛を含む心身の健康管理

職員が相談しやすい環境の整備

業務上の悩みや職場環境、福利厚生、心身の健康等について職員が相談できる体制を整えています。

職員が一人で悩みを抱え込むことなく、安心して相談できる職場環境づくりを進めています。

事故・トラブルへの対応体制

介護現場で発生する事故やトラブルに適切に対応できるよう、必要なマニュアルや対応体制を整備しています。

職員間で必要な情報を共有し、安全・安心な介護サービスの提供と職員の負担軽減につなげています。

5. 生産性向上のための取組み

職場の課題を把握し、業務改善につながる取組み

介護現場の職員が感じている業務上の課題を把握し、業務の流れや負担等を見える化することで、改善すべき課題を整理しています。

現場の声を活かしながら、より効率的で働きやすい業務環境の実現を目指しています。

介護ソフト・ICT 機器の活用

介護記録や情報共有等の業務を効率化するため、介護ソフトやタブレット端末等のICTを導入・活用しています。

ICTの活用によって事務作業や情報共有にかかる職員の負担を軽減し、職員が利用者へのケアにより多くの時間を充てられる環境づくりを進めています。

法人内での協働による業務効率化

法人内の各事業所が連携し、委員会や指針・計画の整備、ICT環境、業務に必要な仕組み等を共通化・効率化することで、各事業所の職員が本来の業務に集中できる環境づくりを進めています。

6. やりがい・働きがいの醸成

職場内のコミュニケーションの充実

日々のミーティングや職員間の情報共有を大切にし、現場で気づいたことや改善のアイデアを共有できる環境づくりに取り組んでいます。

職員同士が意見を出し合い、勤務環境やケアの内容をより良いものに改善していくことを目指しています。

利用者本位のケアを学ぶ機会の確保

介護保険制度や法人の理念、利用者本位のケアについて、職員が定期的に学ぶ機会を設けています。

職員一人ひとりが「利用者にとって何が大切か」を考えながら介護に取り組むことができるよう、理念やケア方針の共有を進めています。